

特選入賞者の論文は、三十ページより掲載してあります。

- 研究の対象が明確であるか。
- 研究の計画及び内容が適切であるか。
- 論旨が一貫しており、説得力があるか。
- 必要にして十分な資料が整えられているか。
- 結論の導き方は適切か。
- 今後の実践に生かす手だてを講じているか。
- 審査総評
  - 児童生徒一人一人の能力、個性に着目し、個人差に応じた研究を進めている傾向は大変良い。更にその成果を立証する客観的データの収集・分析についても十分研究してほしい。
  - 全体的に、実践記録集の色彩がよい。論文としての体裁（項目設定・表記の仕方等）や資料のまとめ方等に一層の工夫が望まれる。
  - 仮説は具体的に、検証は客観的に。新造語や難解な言葉づかいは好ましくない。新しい言葉は、概念を明確にして慎重に使用すること。
  - 資料については、充実したものが多かったが、さらに精選して必要かつ十分なものとし、本文との関連を明確にすること。
  - 教育はマンネリ化してはいけない。出品された多くの先生方が常に新鮮な気持ちで教育実践に取り組んでいる姿勢に敬意を表したい。

表2 教職員研究論文入賞者一覧

◎ 特 選

番号	種 別	研 究 主 題	学校名・職名・氏名
1	国 語	一人一人が心（感動）を素直に表現する指導はどのようにしたらよいか ——詩の指導を通して——	伊達郡川俣町立小島小学校 教諭 高 島 良 子
2	社 会	子どもの多様性に応ずる社会科学習指導の実践	郡山市立安積第一小学校 教諭 相 楽 正 人
3	理 科	身近な自然に問かけ、自ら問題を解決する児童の育成 ——中心事象となじむ活動による学習課題作り——	安達郡東和町立木幡第二小学校 代 表 校長 高 橋 秀 彦
4	生徒指導	生活への意欲を失い、非社会的な問題行動をとる児童の立ち直りをめざす生徒指導の実践 ——児童理解にもとづく適応指導を通して——	耶麻郡塩川町立塩川小学校 教諭 芳 賀 忠 夫

○ 入 選

1	算 数	一人一人が生き生きと取り組み、自分なりの考えを深める指導法の追求 ——関係づけて把握し考えようとする態度の育成——	安達郡東和町立針道小学校 代 表 校長 佐 藤 啓 果
2	図画工作	図画工作科における豊かなイメージを育成する指導法の研究	会津若松市立城西小学校 教諭 馬 場 泰
3	体 育 科	どの子も生き生きと参加し、自己教育力を高める体育学習のために、学習形態をどう組織すればよいか	平方部体育研究同好会 代 表 校長 久間木 秀 雄
4	家 庭	製作活動を通して学ぶ喜びを味わわせ、自ら家庭生活をよりよくしようとする実践的態度を高めるための指導	相馬郡新地町立福田小学校 教諭 星 信 子
5	学級会活動	自発的、自治的な芽生えを育てる低学年学級会系の活動	いわき市立好間第二小学校 教諭 草 野 周 子
6	学級経営	セルフイメージを高め、学習意欲を伸ばす指導はどうか	東白川郡鮫川村立鮫川小学校 教諭 齋 藤 修 一
7	学級経営	資料活用による生徒理解の研究	郡山市立湖南中学校 教諭 宍 戸 賢 一
8	養護教育	連絡帳活用の連携指導によって自閉症改善をめざした実践	会津若松市立城西小学校 教諭 宮 森 幸 運